

2021 年度事業計画書

(2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで)

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

1、事業活動の方針

2020 年は新型コロナ感染が全国に拡大し、宮崎県でも緊急事態宣言がだされ自粛生活を強いられて年が明けました。そして新たな変異株の伝播が伝えられる中、桜満開のニュースも静かなお花見となり新年度がスタートしました。

ゼロ歳から百歳まで安心して暮らしていけるまちづくりを目指してきた当会の活動は、「**たちばな在宅総合支援ハウス**」事業（以下「**たちばな**」と略）として、本年度から実施されます。地鎮祭を昨年 12 月に行い年明けから基礎工事、上棟と順調に建設が進み、9 月には竣工の予定です。10 月より事業は運用開始します。

重度の障害を持った小児の在宅療養や、重度の障害をもった高齢者を含めたケアを実現するために、宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座（吉村学教授）と連携し、**在宅療養支援診療所を開設**します。訪問看護ステーションぱりおんを中心に、**小児、障がい者短期入所、日中一時支援・児童発達支援等の事業**を展開します。それにコミュニティカフェや研修センター等、多職種のプロジェクトメンバーで話し合ってきたことを、具体化し実施運営してまいります。4 月から運用開始 10 月までの半年間「たちばな」事業を開設する為、準備室を本部事務局内に開設し、担当者を雇用します。

「**ホームホスピスカあさんの家**」は、新型コロナコロナの感染防止対策を取りながら、ご家族が悔いなく看取ることができるよう配慮していきます。また、全国ホームホスピス協会とも連動しながら、ホームホスピスケアの質の向上を目指します。昨年よりコロナ感染拡大で、医学生、看護学生、その他の見学者などの制限が続いていますが、感染状況を判断しながら、実習生を受け入れる体制を模索します。

1998 年より継続している**ボランティア活動や教育プログラム**事業を今後も推進していきます。「がん患者サポーター養成研修会」、「これからライフデザイン塾」「在宅医療を推進する映画会」などの研修事業は、感染予防対策を取りながら、オンラインと併用しての開催となります。

暮らしの保健室は、「ゆるりサロン」、「えがおキッチン」や「セルフお灸教室」「ゆるり短歌会」など、いずれも感染防止対策をし、少人数で蜜を避ける方策で実施します。「宮崎市在宅療養支援相談事業」は、10 月よりスタートする「たちばな」のコミュニティカフェでも開催できるように企画します、「宮崎県がんサポート事業・ふらっとカフェ」は県健康増進課と連携しながら、宮崎県立病院での開催が困難な場合は、暮らしの保健室に会場を変えて実施する方向です。さらに暮らしの保健室の取り組みとして、若い世代のがん患者の「宮崎がんサークル shainy」への支援を行います。

事務局体制の強化として昨年 8 月「非営利組織のためのグッドガバナンス認証」を取得し、信頼ある非営利組織の証として評価を得ました。新事業「たちばな」の運営に対して、「*** 休眠預金事業**」の実行団体に選定され、社会的孤立の解消のために、医ケア児を取り巻く環境を少しでも安心できる社会にするためにコミュニティカフェの運営で今後 3 年間の事業を行います。

(*休眠預金とは、休眠預金等活用法に基づき、2009年1月1日以降の取引から10年以上、その後の取引のない預金等を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度で、2019年度から始まりました。2021年、宮崎県内の3非営利団体に配分されます。)

2、事業の実施に関する事項（今年度は次のような項目を重点的に実施します。）

目的	事業名	事業内容	
① ボランティア活動	大切な人を亡くした方の集い 担当：脇坂峰子	毎月第4月曜日午前10時半～ 宮崎教会	
	患者らいぶらり 担当：峰 瑞枝	毎月第3木曜日 午後2時から4時 古賀総合病院内科病棟・産婦人科病棟 闘病記や絵本などの貸し出し傾聴	現在休止
	宮崎聞き書き隊 担当：井上直敬	・依頼のあった方を聞き書きする ・聞き書き例会の開催（第2日曜日） ・細見クリニック回想療法への参加	
	園芸ボランティア 担当：立川志乃	・宮崎市郡医師会病院新設移転に伴い、新病棟の園芸ボランティアの準備 ・新たなボランティアスタッフの募集と育成	現在休止
	ゆるりサロンボランティア ふらっとカフェボランティア かあさんの家ボランティア	・ゆるりサロンの運営のサポート ・がん患者さんやご家族の傾聴とカフェの運営 ・ご家族の庭の入れ、・看護学生の実習受け入れ	
② 教育プログラム	がん患者サポート事業 担当：太田幸子	・ワールドカフェ形式のセッション【期日未定】 「相手が話したくなるような「聞く力」 ～五感を取り戻すためのワークショップ～」 講師：秋山 正子 氏	事業委託 宮崎県
	ホスピスケア市民講座 「在宅医療という希望」 実行委員会設置	・映画上映会 ・映画「痛くない死に方」（仮予定） 期日：未定 会場：宮崎キネマ館(予定)	在宅療養支援事業 宮崎市
	これからライフデザイン塾 ～最後まで豊かな 人生を過ごすために～	・連続講座（5講座） 会場：暮らしの保健室・たちばな総合支援ハウス等 【講座内容(予定)】 1. 癒しのセルフケア 2. 防災教室 3. 絵手紙教室 4. 在宅医療 5. お薬のはなし	

<p>② 地域に開かれた活動（エンドオブライフケア支援事業）</p>	<p>ふらっとカフェ （がんサロン事業委託） 担当：太田幸子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がん拠点病院 （県立宮崎病院 実施の場合…毎月第2水曜日） （暮らしの保健室 実施の場合…毎月第2土曜日） ・サポーター…研修修了者5名、アロマボランティア3名 ・がん患者団体等との情報交換（AYA 世代お茶会 shiny） 暮らしの保健室 毎月第4土曜日 	<p>宮崎県事業委託</p>
<p>目的</p>	<p>事業名</p>	<p>事業内容</p>	
<p>③ 地域に開かれた活動（エンドオブライフケア支援事業）</p>	<p>暮らしの保健室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくり ・暮らしの保健室だより発行 担当：舟井美穂 ・えがおキッチン 担当：松井康代 ・セルフお灸教室 担当：園田清美 ・ゆるり短歌会 担当：堀越照代 ・AYA 世代お茶会 担当：太田幸子 <p>宮崎市在宅療養支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者と家族のためのよろず相談室 <p>ゆるりサロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パッチワーク教室、 ・健康体操 <p>担当：立川志乃</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・赤江まちづくり推進委員会 ミニサロン（年1回） ・年12回発行 ・年3回（不定期） ・年3回（不定期） ・隔月第2金曜日10時から12時 短歌集の作成 ・宮崎がんサークル shiny への支援（年12回） ・意思決定支援など ・随時病気や介護の相談を受ける。 ・要介護者、要支援でもなく、自分の身の回りのことはできるが、日中は一人暮らしで誰かと話をすることもなく、食べることもつい億劫になる、そんな方が共に集って、一緒にランチ食べてお茶の間の居場所となっている。 ・地域包括ケアセンターとも連携を取りながら、ゆっくりした時間と空間を提供する。 	<p>宮崎市</p>

<p>④ たちばな在宅総合支援ハウス</p>	<p>「たちばな在宅総合支援ハウス」</p> <p>【プロジェクトメンバー】 市原美穂、堤育子、黒岩雄二、岡元俊雄、川添英司、宇都仁恵、吉村学、楠元恭子(医師)、日隠由美子、広瀬知佳、岡田瑞穂、立脇一成、黒木智子、萩原尉子</p> <p>【準備室担当】立脇一成</p> <p>【予定事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅療養支援診療所の開設 小児・障がい者短期入所 日中一時支援・児童発達支援 コミュニティカフェ 研修センター 移送サービス・保険外泊まり 	<ul style="list-style-type: none"> 「たちばな在宅総合支援ハウス」の建設（大成建設ハウジング（株））は9月末をめどに完成予定である。それに伴い、準備室を4月より設置する。 医ケア児、重症児の短期入所、日中一時預かり事業の制度的な整合性を行政と打ち合わせをする。 在宅療養支援診療所を開設する。医療的ケア児の在宅療養の環境を整えると同時に、医療的依存度の高い重度介護者が在宅で暮らせる為の支援をする。 カフェの空間を利用して、在宅療養支援相談事業として、暮らしの保健室を開く。{おくすりの相談、最後まで食べるための歯の相談、法律の相談、医療や看護の相談など。} また、現地在デパートなどのある商業地域でありながら静かな環境でもあるため、街なかの特徴を生かした、自由に誰でもが触れ合う、コミュニティカフェを開設する。 障害をもつ人および親たちの働く場所をつくる。そのために多様な人が多様な利用をして、街の真ん中で過ごすことができる仕組みを具現化する。 街の中心部にあり利便性に富んでおり、県内各地からの研修の場として利用できる。 	
------------------------	---	--	--

目的	事業名	事業内容	
<p>⑤ かあさんの家事業</p>	<p>かあさんの家の運営</p> <p>かあさんの家・曾師 かあさんの家・霧島 かあさんの家・月見ヶ丘</p> <p>担当：久保野イツ子</p>	<ul style="list-style-type: none"> 介護スタッフの充足を図る。そのために多様な働き方に対応する環境整備を行う。 家族会の充実と交流会の開催。 運営の安定を図る。 介護保険と障害福祉サービスの検討。 職員のケア水準の向上とスタッフの増員は課題であるため、求人募集の工夫を続ける。 	
<p>⑥ 医療・介護・障がい保険事業</p>	<p>訪問介護ステーション ぱりおん</p> <p>管理者：甲斐昌江</p>	<p>【内部研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> スタッフ会議及びカンファレンスを通して、ケアの理念を共有する。 防災訓練（備蓄、消火訓練、避難訓練）・感染症対策 口腔・栄養管理の強化・薬についての知識を学ぶ <p>【外部研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームホスピス実践者育成塾の受講 期日：2020年9月 第10回ホームホスピス全国合同研修会の受講 期日：2020年11月20,21日 会場：MR Tmicc 	
	<p>訪問看護ステーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> 重度の障害がある小児の在宅療養を支える。 	

	ぱりおん 管理者：堤育子	<ul style="list-style-type: none"> 療養通所介護、短期入所、日中一時預かり事業の開設へ向けての準備 看護学生の実習受け入れ 0歳から100歳までの医療充実のためのまちづくりを目指して、ネットワークをつくる。 宮崎小児在宅療養を支える会の運営 	
	障がい者短期入所	<ul style="list-style-type: none"> 「たちばな在宅総合支援ハウス」の2階で実施する医療的ケア児や重症児のための福祉強化型（※）短期入所事業（5床）。 10月より運営開始予定。 ※ 医療型への移行も検討中。	
	日中一時支援	<ul style="list-style-type: none"> 「たちばな在宅総合支援ハウス」の2階に開設する障がい児のための日中一時預かり事業（定員5名）。 10月より運営開始予定。 	
	在宅療養支援診療所 楠元恭子医師	地域医療・総合診療医学講座（吉村学教授）と連携し、家庭医療・総合診療・地域医療に関する質の高い臨床実践教育の場として、診療所を運営する。	
目的	事業名	事業内容	
⑥ 障がい保険事業 医療・介護・	地域包括ケアシステムの構築のための取り組み かあさんの家の連携	<ul style="list-style-type: none"> 医療との連携 ⇒かかりつけ医、訪問看護ステーション、訪問薬局、訪問歯科との連携 介護サービス事業所との連携 ⇒訪問リハ、福祉用具、デイサービス、デイケア、入浴サービスなどの介護保険のサービス事業者との連携 	
	⑦ ホームホスピス支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 「ホームホスピスの学校」受講生の受入機関 研修内容を組み立て計画に添って、指導や相談に乗りながら、ホームホスピス立ち上げまで助言指導する。 1名～2名の受け入れ 	
	ホームホスピス推進センターの事業	<ul style="list-style-type: none"> 医学生・看護学生・介護職の実習の受け入れが、昨年度より、コロナ感染予防のために休止となっている。今年度の見通しは難しいものがあるが、感染予防を徹底しながら、実習計画を立て、かあさんの家での実習を指導。 	

	一般社団法人 全国ホームホスピス協会 事務局の機能 担当：黒岩雄二 岡田瑞穂 岩切知峰	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回ホームホスピス実践者育成塾の開催 期日：2021年9月 会場：未定 ・第10回ホームホスピス全国合同研修会の開催 期日：2021年11月21, 22日 会場：MR Tmicc 	事務局の委託
⑧ 研究・啓発・情報・広報	認定NPO 寄付文化の醸成 ファンドレイザー： 黒岩雄二（準認定）	<ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員を増やす ・HPで、賛助会員や寄付の呼びかけ ・ファンドレイジングの活用 	
	「かあさんの家」見学及び 研修の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・見学・現場実習等受け入れ ・研修医の受け入れ（平塚共済病院研修医2年目） ・他施設職員現場研修の受け入れ 但し、いずれも、コロナ感染の状況次第である。	
	ホームページの充実 制作：黒岩雄二 ニュースレターの発行 担当：岡田瑞穂	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの運営 ・全国のホームホスピスとのリンク ・年2回発行 	
目的	事業名	事業内容	

<p style="text-align: center;">⑧ 研究・啓発・情報・広報</p>	<p>総務部門</p> <p>事務局業務の増加に伴い事務局体制の強化を図る理事会のもとに、「運営委員会」を置く。</p> <p>運営委員： 市原美穂、久保野イツ子 立川志乃、黒岩雄二、 堤育子、立脇一成、 甲斐昌江</p> <p>《事務局職員体制》</p> <p>事務局長：黒岩雄二 経理担当：久保野郁美 総務担当：岡田瑞穂 舟井美穂 準備室担当：立脇一成</p>	<p>① 会議の業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時総会の開催 期日：4月2日（金）18時30分～19時30分 会場：暮らしの保健室 ・定時総会の開催 期日：5月29日（土）14時から15時 会場：暮らしの保健室 ・理事会の開催（年3回予定） ・運営委員会の開催 ・事務局会議の開催 <p>② 会員管理業務</p> <p>③ 経理業務</p> <p>④ 労務管理業務 就業規則を見直し、適切な労務管理、 多様な雇用体制の検討</p> <p>⑤ 総務関連業務・・・届出等</p>	
--	--	--	--